

# 磯松中学校だより No.2

令和2年5月18日  
東広島市立磯松中学校

学校教育目標「確かな学力を身に付け、心豊かで活力にみちた生徒の育成」

ホームページアドレス [https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/isomatsu\\_chu/index.html](https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/isomatsu_chu/index.html)

メールアドレス [isomatsu-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp](mailto:isomatsu-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp)



保護者、地域の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの早期終息のため、不要不急の外出の自粛、3つの密を避けることに取り組んでおられると思います。一日も早く、皆様のご健康と元気ある生活が戻ることをお祈り申し上げます。

さて、学校は5月末日まで臨時休業としました。例年であれば、学校生活にも慣れ、学習や部活動に一生懸命に取り組む生徒の姿が見られる時期です。現在、学校の再開に向けて準備を進めているところです。これからは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止とともに、熱中症にも気をつけなければなりません。引き続き、不用不急の外出の自粛、規則正しい生活、水分補給に気をつけていただきますよう、ご協力をお願いします。



## 学習課題の配布及び点検

5月の「学習課題の配布及び点検」では、3つの密を避けるために、学級を6つのグループに分けています。生徒は、マスクを着用するとともに、1階の階段前、教室の前でアルコール消毒をして入室します。教室では、密接を避けるために机を離して学習しています。



【久しぶりに友達の顔を見て、やっぱり学校はいいな。」と話している生徒。「早く授業がしたい。」と思っている先生。】

今後、3回目の「学習課題の配布及び点検」(5/25, 26, 27)と「分散登校」(5/29)を実施します。

【保護者の皆様へお願い】

- 1 ミマモルメの登録がまだのご家庭は、早急に登録をお願いします。  
また、IDが届きましたら、本登録をお願いします。
- 2 臨時休業中は、磯松中学校のホームページをこまめにチェックしてください。  
[https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/isomatsu\\_chu/index.html](https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/isomatsu_chu/index.html)



- 3 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係ること、気象警報発令にともなう対応等の連絡は、ミマモルメ及び電話により行います。ご協力をお願いします。

# 令和2年度 磯松中学校 学校評価自己評価表

学校教育目標の「確かな学力を身につけ、心豊かで活気に満ちた生徒の育成」を目指し、保護者・地域から信頼される学校づくりを推進します。

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標
学力の向上を図る学校	基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学ぶ生徒を育成する。	(1) 生徒が「分かった」「楽しい」と感じる授業づくりを推進する。	○「磯松授業スタイル」の実践を積み重ねる。 ○学習規律(ベル着・私語)の徹底を図る。 ○「聴く」「書く」「話す」活動を取り入れた授業を実施する。 ○小中連携による教師力、生徒の学力の向上を図る。	①「授業が分かる・できた」と答える生徒の割合を90%以上にする。 ②校内授業研究(教科、領域等)において「話し合い活動」を取り入れた授業を公開する教職員の割合を100%にする。  ③「自分の考えをまとめ、発表できる」生徒の割合を80%以上にする。 ④「他者(生徒、教職員等)の話を聴く」「自分の考えを書く」「自分の考えを振り返ったり、まとめたり発表する」ことができる生徒の達成感の割合を1年70%、2年75%、3年80%以上にする。
		(2) 家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぶ意欲・態度を育てる。	○適度の宿題及び自学自習ノートの課題の提出・点検を実施する。 ○読書活動(朝読書も含む)を推進する。	⑤「期限内に提出物を出す」生徒の割合を88%以上にする。 ⑥月1冊以上の読書をする。
規律と活気のある学校	豊かな心と健やかな体を育て、活力ある生徒を育み、不登校の未然防止に努める。	(1) 豊かな人間性と社会性を育てる。	○JASMIN(東広島スタンダード)を徹底させる。 ○部活動、体育大会、文化祭等の取組を充実させる。	⑦生徒の「JASMIN」についての取組を肯定的に評価する教職員の割合を100%にする。 JASUMIN(8項目)全項目において生徒の達成率の平均を90%以上にする。 ⑧主体的・創造的な活動(部活動、体育大会、文化祭など)の取組による達成率を80%以上にする。
		(2) 健康の増進とたくましい体を育てる。	○健康教育・食教育の推進を図る。 ○新体力テストの結果を踏まえて、弱点克服のための補強運動を実施する。	⑨「給食を残さず食べようとする」生徒を90%以上にする。 ⑩男女共に「50M走」において県平均値を上回るようにする。
		(3) 不登校の未然防止、解決に向けた取組を充実させる。	○生徒指導部会(不登校対策委員会)で方向性を打ち出し、チームで取組を推進する。 ○スクールカウンセラーや心のサポーターの活用。	⑪不登校生徒の割合を全国平均以下にする。 ⑫不登校生徒等の家庭訪問実施率を100%にする。
組織的運営をする学校	組織的な学校運営体制を確立し、保護者・地域に信頼される学校をつくる。	(1) 生徒指導体制を確立する。	○「報告・連絡・相談」を徹底させ、組織的・積極的な生徒指導を行う。 ○教育相談体制を確立し、生徒理解を深める。	⑬悩みを相談できる先生がいる生徒の割合を80%以上にする。 ⑭SCIによる新入生面談を100%実施する。
		(2) 小中接続教育を推進し、地域に開かれた学校づくりを推進する。	○2校の小学校との授業や行事を中心に交流し、小中接続教育を充実したものにす。	⑮「学級生活不満足群」の生徒の割合を10%以下にする。 ⑯Q-U等を活用した教育相談の実施率を100%にする。
		(3) 社会に開かれた魅力ある学校づくり(教育課程)を推進する。	○学校や地域に貢献する。 ○授業参観や学校だより、ホームページを充実させる。 ○資質・能力を育成する教育課程を創造する。	⑰環境美化活動、地域でのボランティア活動に積極的に取り組んだ生徒の割合を70%以上にする。 ⑱「磯松中学校で学ばせて良かったと思う」保護者の割合を90%以上にする。 ⑲行きたい学校(生徒)、行かせたい学校(保護者)、やりがいのある学校(教職員)の割合85%以上にする。
働き方改革の推進	学校における業務改善・業務削減を推進するとともに、教職員の働き方に対する意識の醸成を図る。	(1) 部活動指導に係る教職員の負担軽減を行う。	○部活動方針に基づいた部活動休養日や部活動時間を徹底させる。	⑳部活動時間を設定し、下校時間を守る生徒を100%にする。
		(2) 教職員の働き方に対する意識の醸成を推進する。	○早期・定時退校日を設定し、計画的に業務に取り組む。	㉑時間外勤務月80時間以上(年平均)の教職員を0%にする。 ㉒「子供と向き合う時間が確保できている」と感じる教職員を80%以上にする。 ㉓「所属校は働きやすい職場である」と感じる教職員を80%以上にする。 ㉔年次有給休暇10日(10回)以上取得する教職員を100%にする。

## 6月の主な行事予定

1日(月)	1年生新入生テスト 1年生部活動見学	16日(火)	1年生SC面談
2日(火)	1年生SC面談 1年生部活動見学		体罰・セクハラから外相談日
3日(水)	1年生部活動体験		PTA本部役員会
4日(木)	1年生部活動体験	19日(金)	生徒総会
5日(金)	1年生入部届提出		16:15漢字検定
8日(月)	学校評議員会 学校関係者評価委員会	23日(火)	1年生SC面談
9日(火)	3年生上級学校説明会(予定)	24日(水)	3年生IBA
11日(木)	3年生習熟度テスト	26日(金)	集金日
12日(金)	3年生習熟度テスト	30日(火)	尿検査
			※コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定が変わることがあります。

SC(スクールカウンセラー)来校日: 6/2(火), 9(火), 16(火), 23(火) 6月は1年生を対象にSCによる全員面談を行います。

心のサポーター来校日: 6/1(月), 5(金), 8(月), 12(金), 15(月), 19日(金), 22(月), 26(金), 29(月)

※SC、心のサポーターとの面談を希望される場合は、教頭または養護教諭までご連絡ください。(Tel428-6675)